

## 第3章 表彰・事務局の変遷

# 1. 議員及び職員の表彰

## 地方自治功勞 叙勲受章者

氏名	種別	受章日付	受章年齢
古波蔵 清次郎	勲4等瑞宝章	平成8年4月29日	73
又 吉 正 弘	勲5等双光旭日章	平成8年11月3日	71
武 島 行 男	勲4等瑞宝章	平成12年11月3日	73
大 川 昇	勲5等双光旭日章	平成14年11月3日	80
仲 村 春 仁	旭日单光章	平成16年3月1日	88
宮 里 敏 行	旭日双光章	平成16年4月29日	76

## 地方自治功勞 藍綬褒章受章者

氏名	時期	受章年齢
伊 佐 雅 仁	平成13年春	64

## 全国市議会議長会永年勤続功勞表彰 〈議員〉

氏名	表彰勤続年数	受賞日
宮 里 敏 行	10年	昭和46年6月24日
安次富 盛 信	10年	〃
天 久 盛 雄	10年	昭和47年5月30日
大 川 昇	10年	昭和48年5月31日
古波蔵 清次郎	10年	〃
武 島 行 男	10年	〃
又 吉 正 弘	10年	〃
石 川 真 六	10年	昭和52年5月31日
棚 原 憲 信	10年	〃
比 嘉 義 定	10年	〃
大 川 昇	15年	昭和53年5月30日
古波蔵 清次郎	15年	〃
武 島 行 男	15年	〃
又 吉 正 弘	15年	〃

氏名	表彰勤続年数	受賞日
伊佐雅仁	10年	昭和56年5月27日
島徳吉	10年	〃
玉那覇行昭	10年	〃
仲村春仁	10年	〃
比嘉守盛	10年	〃
宮城仁政	10年	〃
宮城正光	10年	〃
山本朝保	10年	〃
比嘉義定	15年	昭和58年6月29日
武島行男	20年	〃
又吉正弘	20年	〃
知念忠二	10年	昭和59年5月30日
松本利宣	10年	〃
石川仁一	10年	昭和60年5月29日
大川正雄	10年	〃
大城真淳	10年	〃
椿健義	10年	〃
宮里良昭	10年	〃
玉那覇行昭	15年	昭和61年5月28日
伊佐吉秀	10年	平成元年5月30日
恩河徹夫	10年	〃
我如古盛吉	10年	〃
佐喜眞幸一	10年	〃
仲村春信	10年	〃
屋良朝勇	10年	〃
知念忠二	15年	〃
伊佐雅仁	15年	平成2年5月30日
石川仁一	15年	〃
大城真淳	15年	〃
酒井健義	15年	〃
大川昇	20年	平成3年6月26日
名城俊治	10年	平成4年5月27日
上江洲安儀	10年	平成5年5月27日
古波津由信	10年	〃
呉屋正行	10年	〃

氏名	表彰勤続年数	受賞日
佐喜眞 祐 輝	10年	平成5年5月27日
砂 川 晃 章	10年	〃
知 花 眞 正	10年	〃
平安座 唯 雄	10年	〃
宮 城 善 正	10年	〃
恩 河 徹 夫	15年	平成6年5月26日
我如古 盛 吉	15年	〃
仲 村 春 信	15年	〃
知 念 忠 二	20年	〃
前 川 朝 平	10年	平成7年6月28日
伊 佐 雅 仁	20年	〃
大 城 眞 淳	20年	〃
天 久 嘉 栄	10年	平成9年5月28日
伊 波 善 雄	10年	〃
大 城 政 利	10年	〃
佐喜眞 博	10年	〃
知 念 清 栄	10年	〃
宮 城 邦 雄	10年	〃
宮 里 眞 吉	10年	〃
上江洲 安 儀	15年	平成10年5月26日
呉 屋 正 行	15年	〃
佐喜眞 祐 輝	15年	〃
知 花 眞 正	15年	〃
平安座 唯 雄	15年	〃
宮 城 善 正	15年	〃
恩 河 徹 夫	20年	平成11年6月23日
知 念 忠 二	25年	〃
伊 佐 雅 仁	25年	平成12年5月30日
伊 佐 敏 男	10年	平成13年5月22日
伊 波 廣 助	10年	〃
宇江城 昌 健	10年	〃
玉那覇 繁	10年	〃
前 川 朝 平	15年	〃
天 久 嘉 栄	15年	平成14年5月28日
伊 波 善 雄	15年	〃

氏名	表彰勤続年数	受賞日
大城政利	15年	平成14年5月28日
上江洲安儀	20年	平成15年6月19日
平安座唯雄	20年	〃

### 〈正副議長〉

氏名	表彰勤続年数	受賞日
古波蔵清次郎	4年	昭和42年6月28日
宮里敏行	4年	〃
古波蔵清次郎	8年	昭和46年6月24日
宮里敏行	8年	〃
古波蔵清次郎	12年	昭和50年6月25日
宮里敏行	12年	〃
石川真六	4年	昭和54年6月27日
武島行男	4年	〃
島徳吉	4年	昭和58年6月29日
又吉正弘	4年	〃
伊佐吉秀	4年	昭和62年6月25日
石川仁一	4年	〃
仲村春信	4年	平成3年6月26日
仲村春信	8年	平成7年6月28日
宮城善正	4年	〃
伊佐雅仁	4年	平成11年6月23日
呉屋正行	4年	〃

### 〈職員〉

氏名	表彰勤続年数	受賞年月日
照屋 毅	10年	昭和47年 5月30日
島袋 真由	10年	昭和49年 5月30日
照屋 毅	15年	昭和51年 7月22日
当銘 孝子	10年	昭和52年 5月30日
仲村 春夫	10年	昭和53年 5月30日
末吉 健男	10年	昭和54年 6月27日
島袋 真由	15年	〃
当銘 孝子	15年	昭和57年 5月27日
安里 良一	10年	昭和58年 6月29日
仲村 春夫	15年	〃
島袋 真由	20年	昭和59年 5月30日
古波蔵 恵	10年	昭和60年 5月29日
安里 良一	15年	昭和63年 6月1日
古波蔵 恵	15年	平成元年 5月30日
安里 良一	20年	平成5年 5月27日
安里 良一	25年	平成10年 5月26日
瀬名波 稔	10年	平成12年 5月30日
大城 清政	10年	平成13年 5月22日
新城 康子	10年	平成14年 5月28日
松川 正則	10年	平成16年 5月25日
安里 良一	30年	〃

### 〈局長〉

氏名	表彰勤続年数	受賞年月日
末吉 健男	15年	昭和58年 6月29日

## 沖縄県市議会議長会永年勤続功労表彰 〈議員〉

氏名	表彰勤続年数	受賞日
安次富 盛 信	8年	昭和49年 8月21日
天 久 盛 雄	8年	〃
大 川 昇	8年	〃
武 島 行 男	8年	〃
又 吉 正 弘	8年	〃
宮 里 敏 行	8年	〃
伊 佐 徳次郎	8年	昭和50年 8月13日
石 川 真 六	8年	〃
崎 間 正 篤	8年	〃
棚 原 憲 信	8年	〃
比 嘉 義 定	8年	〃
伊 佐 雅 仁	8年	昭和54年 7月26日
大 川 正 雄	8年	〃
島 徳 吉	8年	〃
玉那覇 行 昭	8年	〃
多和田 真 一	8年	〃
仲 村 春 仁	8年	〃
比 嘉 守 盛	8年	〃
松 本 利 宣	8年	〃
宮 城 邦 彦	8年	〃
宮 城 仁 政	8年	〃
宮 城 正 光	8年	〃
山 本 朝 保	8年	〃
知 念 忠 二	8年	昭和57年 8月12日
伊 佐 雅 仁	12年	昭和58年 8月10日
石 川 仁 一	8年	〃
大 城 真 淳	8年	〃
島 徳 吉	12年	〃
武 島 行 男	20年	〃
玉那覇 行 昭	12年	〃
比 嘉 守 盛	12年	〃
比 嘉 義 定	16年	〃



氏名	表彰勤続年数	受賞日
又吉正弘	20年	昭和58年8月10日
宮城仁政	12年	〃
宮城正光	12年	〃
宮里良昭	8年	〃
山本朝保	12年	〃
椿健義	8年	昭和59年8月23日
松本利宣	12年	〃
知念忠二	12年	昭和61年10月21日
伊佐吉秀	8年	昭和62年8月6日
石川仁一	12年	〃
大川昇	16年	〃
大川正雄	12年	〃
大城真淳	12年	〃
恩河徹夫	8年	〃
我如古盛吉	8年	〃
酒井健義	12年	〃
佐喜眞幸一	8年	〃
玉那覇行昭	16年	〃
仲村春信	8年	〃
松本利宣	16年	〃
宮城盛昌	8年	〃
宮里良昭	12年	〃
屋良朝勇	8年	〃
知念忠二	16年	平成2年8月8日
伊佐雅仁	16年	平成3年8月8日
伊佐吉秀	12年	〃
石川仁一	16年	〃
上江洲安儀	8年	〃
大川昇	20年	〃
大城真淳	16年	〃
恩河徹夫	12年	〃
我如古盛吉	12年	〃
古波津由信	8年	〃
呉屋正行	8年	〃
佐喜眞幸一	12年	〃

氏名	表彰勤続年数	受賞日
佐喜眞 祐 輝	8年	平成3年8月8日
砂 川 晃 章	8年	〃
知 花 眞 正	8年	〃
仲 村 春 信	12年	〃
名 城 俊 治	8年	〃
平安座 唯 雄	8年	〃
宮 城 善 正	8年	〃
屋 良 朝 勇	12年	〃
前 川 朝 平	8年	平成5年8月4日
知 念 忠 二	20年	平成6年8月4日
名 城 俊 治	12年	〃
安次富 修	8年	平成7年8月7日
天 久 嘉 栄	8年	〃
伊 佐 雅 仁	20年	〃
伊 波 善 雄	8年	〃
上江洲 安 儀	12年	〃
大 城 政 利	8年	〃
大 城 眞 淳	20年	〃
恩 河 徹 夫	16年	〃
我如古 盛 吉	16年	〃
金 城 清 武	8年	〃
古波津 由 信	12年	〃
呉 屋 正 行	12年	〃
佐喜眞 博	8年	〃
佐喜眞 祐 輝	12年	〃
知 念 清 栄	8年	〃
知 花 眞 正	12年	〃
仲 村 春 信	16年	〃
平安座 唯 雄	12年	〃
宮 城 邦 雄	8年	〃
宮 城 善 正	12年	〃
宮 里 眞 吉	8年	〃
前 川 朝 平	12年	平成9年8月14日
知 念 忠 二	24年	平成10年8月4日
天 久 嘉 栄	12年	平成11年8月4日

氏名	表彰勤続年数	受賞日
伊佐敏男	8年	平成11年8月4日
伊佐雅仁	24年	〃
石川ヨシ子	8年	〃
伊波廣助	8年	〃
伊波善雄	12年	〃
上江洲安儀	16年	〃
宇江城昌健	8年	〃
大城政利	12年	〃
大城真淳	24年	〃
恩河徹夫	20年	〃
呉屋正行	16年	〃
佐喜眞博	12年	〃
佐喜眞祐輝	16年	〃
玉那覇繁	8年	〃
知念清栄	12年	〃
知花眞正	16年	〃
平安座唯雄	16年	〃
宮城邦雄	12年	〃
宮城善正	16年	〃
宮里眞吉	12年	〃
知念忠二	28年	平成14年8月8日
前川朝平	16年	〃
天久嘉栄	16年	平成15年8月8日
新垣清涼	8年	〃
伊佐敏男	12年	〃
伊佐雅仁	28年	〃
伊波廣助	12年	〃
伊波善雄	16年	〃
上江洲安儀	20年	〃
宇江城昌健	12年	〃
大城政利	16年	〃
恩河徹夫	24年	〃
我如古盛英	8年	〃
玉那覇繁	12年	〃
知念吉男	8年	〃

氏名	表彰勤続年数	受賞日
平安座 唯 雄	20年	平成15年 8月 8日
又 吉 清 義	8年	〃
屋 良 朝 秀	8年	〃

### 〈議長〉

氏名	表彰勤続年数	受賞日
古波蔵 清次郎	議長 8年	昭和49年 8月21日
古波蔵 清次郎	議長12年	昭和50年 8月13日
武 島 行 男	議長 4年	昭和54年 7月26日
又 吉 正 弘	議長 4年	昭和58年 8月10日
石 川 仁 一	議長 4年	昭和62年 8月 6日
仲 村 春 信	議長 4年	平成 7年 8月 7日
伊 佐 雅 仁	議長 4年	平成11年 8月 4日

### 〈職員〉

氏名	表彰勤続年数	受賞年月日
照 屋 毅	15年	昭和51年 7月22日
島 袋 真 由	15年	昭和54年 7月26日
当 銘 孝 子	15年	昭和57年 8月12日
仲 村 春 夫	15年	昭和58年 8月10日
島 袋 真 由	20年	昭和59年 8月23日
安 里 良 一	15年	昭和63年 8月18日
古波蔵 恵	15年	平成元年12月 6日
安 里 良 一	20年	平成 5年 8月 4日
安 里 良 一	30年	平成16年 8月 3日

### 〈局長〉

氏名	表彰勤続年数	受賞年月日
末 吉 健 男	10年	昭和53年11月30日
末 吉 健 男	15年	昭和58年 8月10日

## 宜野湾市政功勞表彰

氏名	受賞日
武島行男	昭和58年7月1日
又吉正弘	〃
天久盛雄	昭和59年7月1日
伊佐雅仁	〃
石川真六	〃
大川昇	〃
崎間健一郎	〃
島徳吉	〃
桃原正賢	〃
仲村春仁	〃
比嘉義定	〃
宮城邦彦	〃
宮城仁政	〃
宮城正光	〃
山本朝保	〃
安次富盛信	昭和61年7月1日
大川正雄	昭和62年7月1日
玉那覇行昭	〃
松本利宣	〃
宮里敏行	〃
宮里良昭	〃
棚原憲信	昭和63年7月1日
伊佐吉秀	平成3年7月1日
石川仁一	〃
酒井健義	〃
佐喜眞幸一	〃
我如古盛吉	平成7年7月1日
古波津由信	〃
仲村春信	〃
名城俊治	〃
知花眞正	平成11年7月1日
呉屋正行	〃
佐喜眞博	〃

氏名	受賞日
宮城邦雄	平成11年7月1日
宮城善正	〃
宮里真吉	〃
佐喜眞祐輝	平成13年7月1日
屋良朝勇	〃
天久嘉栄	平成15年7月1日
伊波善雄	〃
恩河徹夫	〃
知念忠二	〃

## 2. 議長・副議長及び事務局職員の変遷 (昭和21年以降)

年 月 日	事 項
昭和21年 5月 4日	米軍政府指令第 5 号「村会議員補欠」公布
昭和22年12月 2日	米軍政府特別布告第25号「選挙」（市町村長並びに議員）公布
昭和23年 1月12日	米軍政府指令第 4 号「沖縄群島市町村長及び市町村議会議員の選挙」並びに「市町村議会議員及び市町村長選挙法」公布
1月12日	沖縄民政府布令第 1 号「市町村議会議員及び市町村長選挙法施行令」公布
1月12日	沖縄民政府布令第 2 号「市町村議会議員及び市町村長選挙法施行規則」公布
2月 8日	沖縄群島 3 市 3 町46村、議会議員選挙執行 宜野湾村は、無投票となった。定数26人
9月24日	伊佐真人氏初代議長に就任する。 儀間仁栄氏初代副議長に就任する。
昭和25年 7月 7日	米軍政府布令第17号「改正市町村長及び市町村議会議員選挙法」公布
9月10日	全琉 4 市 8 町51村、議会議員選挙執行 宜野湾村は、定数10人に11人の候補者があった。
10月11日	仲村春勝氏第 2 代議長に就任する。 又吉亀助氏第 2 代副議長に就任する。
昭和27年 4月 1日	琉球政府設立
7月28日	琉球政府立法第10号「臨時北部南西諸島市町村制の一部を改正する立法」公布（市町村議会議員の定数変更）
昭和28年 3月29日	全琉 4 市 8 町52村、議会議員特別選挙執行 宜野湾村は、定数10人に14人の候補者があった。
4月25日	知念俊吉氏第 3 代議長に就任する。 又吉亀助氏第 3 代副議長に就任する。
昭和29年 9月12日	全琉 4 市 6 町44村、議会議員選挙執行 宜野湾村は、無投票となった。定数20人
10月 5日	桃原正賢氏第 4 代議長に就任する。 泉水朝正氏第 4 代副議長に就任する。
昭和33年 9月14日	全琉 2 市 6 町43村、議会議員選挙執行 宜野湾村は、定数20人に29人の候補者があった。



- 10月6日 桃原正賢氏第5代議長に就任する。  
崎間健一郎氏第5代副議長に就任する。
- 昭和34年7月1日 照屋毅を事務局書記に任用する。
- 昭和35年12月28日 崎間健一郎氏第6代議長に就任する。  
仲本正重氏第6代副議長に就任する。
- 昭和37年7月1日 村を廃止し、市制を施行、宜野湾市となる。
- 9月9日 全琉3市4町39村、議会議員選挙執行  
宜野湾市は、定数21人に24人の候補者があった。
- 昭和37年9月28日 古波蔵清次郎氏第7代議長に就任する。  
宮里敏行氏第7代副議長に就任する。
- 昭和38年9月1日 宮城光雄を事務局職員に任命する。  
事務局長を命ずる。
- 11月1日 島袋真由を事務局職員に任命する。書記に補する。
- 11月1日 伊佐菊枝を事務局職員に任命する。書記補に補する。
- 11月1日 知念善光を事務局職員に任命する。雇に補する。
- 昭和41年9月11日 全琉3市3町39村、議会議員選挙執行  
宜野湾市は、定数22人に28人の候補者があった。
- 9月28日 古波蔵清次郎氏第8代議長に就任する。  
宮里敏行氏第8代副議長に就任する。
- 10月6日 伊佐菊江を市長事務局へ出向を命ずる。
- 10月6日 當銘孝子を事務局職員に任命する。書記に補する。
- 昭和42年4月1日 末吉建男を事務局職員に任命する。書記に補する。
- 5月30日 宮城光雄事務局長退職する。
- 6月1日 末吉健男を事務局長に命ずる。
- 10月1日 仲村春夫を事務局書記に任用する。
- 10月1日 比嘉定治を事務局書記に任用する。
- 昭和45年9月13日 5市3町34村、議会議員選挙執行  
宜野湾市は、定数22人に31人の候補者があった。
- 9月28日 古波蔵清次郎氏第9代議長に就任する。  
宮里敏行氏第9代副議長に就任する。
- 昭和47年5月15日 日本復帰により沖縄県となる。
- 9月1日 安里良一を事務局事務吏員に任命する。書記に命ずる。
- 昭和48年7月29日 宜野湾市議会議員補欠選挙執行
- 昭和49年5月13日 古波蔵恵を事務局事務吏員に任命する。書記に命ずる。

- 7月1日 照屋毅を事務局次長に命ずる。兼ねて庶務係長を任ずる。
- 9月8日 5市1町27村、議会議員選挙執行  
宜野湾市は、定数28人に34人の候補者があった。
- 9月30日 武島行男氏第10代議長に就任する。  
石川真六氏第10代副議長に就任する。
- 11月1日 當銘孝子を主事に補する。
- 11月1日 仲村春夫を主事に補する。
- 11月1日 比嘉定治を主事に補する。
- 昭和50年4月1日 照屋毅次長の庶務係長兼務を解く。
- 4月1日 當銘孝子を事務局庶務係長に命ずる。
- 昭和51年1月12日 当山美枝子を昭和51年4月18日までの間、臨時任用（産休補充）する。
- 昭和53年9月3日 5市3町32村、議会議員選挙執行  
宜野湾市は、定数31人に48人の候補者があった。
- 9月28日 又吉正弘氏第11代議長に就任する。  
島徳吉氏第11代副議長に就任する。
- 昭和54年4月1日 議事担当主幹を新たに配置する処務規程を改正する。
- 4月1日 島袋真由議事係長を議事担当主幹に命ずる。
- 昭和55年4月1日 照屋毅を監査委員事務局へ出向を命ずる。
- 5月20日 古波蔵信三を書記に任用し、事務局次長に命ずる。
- 6月1日 比嘉定治を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 6月1日 伊差川進を書記に任用する。
- 昭和56年7月26日 宜野湾市議会議員補欠選挙執行
- 昭和57年9月19日 4市10町20村、議会議員選挙執行  
宜野湾市は、定数31人に46人の候補者があった。
- 9月30日 石川仁一氏第12代議長に就任する。  
伊佐吉秀氏第12代副議長に就任する。
- 昭和59年5月1日 當銘孝子を監査委員事務局へ出向を命ずる。
- 5月1日 伊差川進を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 5月1日 石川義光を書記に任用する。庶務係長を命ずる。
- 5月1日 森岡義春を書記に任用する。主事に補する。
- 8月17日 末吉健男事務局長死去により辞職する。
- 昭和60年2月1日 古波蔵信三次長を事務局長に命ずる。
- 4月1日 島袋真由議事担当主幹を事務局次長に命ずる。

	7月28日	宜野湾市議会議員補欠選挙執行（欠員1人に候補者3人）
	10月1日	石川義光庶務係長を議事担当主幹に命ずる。
	10月1日	仲村春夫を庶務係長に命ずる。
昭和61年	9月7日	宜野湾市議会議員選挙執行 定数31人に41人の候補者があった。
	9月30日	石川仁一氏第13代議長に就任する。 仲村春信第13代副議長に就任する。
昭和62年	2月28日	島袋真由次長、願いにより退職する。
	3月5日	幸地長吉を書記に任用し、次長を命ずる。
	4月1日	仲村春夫を市長事務局へ出向を命ずる。
	4月1日	仲村章を書記に任用し、庶務係長を命ずる。
昭和63年	12月26日	伊佐吉秀氏第14代議長に就任する。
昭和64年	1月7日	「昭和」から「平成」に改元なる。
平成元年	6月1日	事務局に議事係を新設し、職員1名を増員し8名体制となる。
	6月1日	森岡義春主事を議事係長に命ずる。
	6月1日	古波蔵恵を市長事務局へ出向を命ずる。
	6月1日	瀬名波稔を書記に任用し、主事に補する。
	6月1日	宮城悦子を書記に任用し、主事に補する。
平成2年	3月31日	古波蔵信三事務局長、定年退職する。
平成2年	4月1日	國吉真義を事務局長に命ずる。
	4月1日	大城清政を書記に任用し、議事担当主幹を命ずる。
	4月1日	石川義光議事担当主幹を市長事務局へ出向を命ずる。
	9月9日	宜野湾市議会議員選挙執行 定数31人に39人の候補者があった。
	9月28日	仲村春信氏第15代議長に就任する。 宮城善正氏第14代副議長に就任する。
平成4年	3月31日	國吉真義事務局長、定年退職する。
	4月1日	宮里憲輝を事務局長に命ずる。
	4月1日	森岡義春を市長事務局へ出向を命ずる。
	5月1日	職員を1名増員し9名体制となる。
	5月1日	事務局次長は次長相当職となる。
	5月1日	幸地長吉次長を事務局次長に命ずる。
	5月1日	大城清政議事担当主幹を庶務課長に命ずる。
	5月1日	森岡義春議事係長を庶務係長に命ずる。

- 5月1日 仲村章庶務係長を議事係長に命ずる。
- 5月1日 新城康子を書記に任用する。
- 平成5年4月1日 森岡義春庶務係長を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 4月1日 濱川靖を書記に任用し、庶務係長に命ずる。
- 平成6年4月1日 仲村章議事係長を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 4月1日 松川正則を書記に任用し、議事係長を命ずる。
- 9月28日 宜野湾市議会議員選挙執行  
定数31人に38人の候補者があった。
- 9月28日 伊佐雅仁氏第16代議長に就任する。
- 9月29日 宮城善正氏第14代副議長に就任する。
- 平成8年4月1日 宮城由利子を書記に任用する。
- 4月1日 宮城悦子を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 平成9年4月1日 幸地長吉事務局次長を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 4月1日 大城清政庶務課長を事務局次長に命ずる。
- 4月1日 長嶺健を書記に任用し、庶務課長を命ずる。
- 平成10年9月28日 佐喜眞博氏第17代議長に就任する。
- 9月29日 天久嘉栄氏第16代副議長に就任する。
- 平成11年2月10日 宮国宏美を平成11年3月31日までの間、臨時任用（病休補充）  
する。
- 3月29日 佐喜眞博議長死去により辞職する。
- 3月31日 宮里憲輝事務局長、定年退職する。
- 4月1日 大城清政事務局次長を事務局長に任ずる。
- 4月1日 桃原正秀を書記に任用し、事務局次長を命ずる。
- 4月1日 濱川靖庶務係長を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 4月1日 伊佐努を書記に任用し、庶務係長を命ずる。
- 5月18日 天久嘉栄氏第18代議長に就任する。  
上江洲安儀氏第17代副議長に就任する。
- 平成13年4月1日 桃原正秀事務局次長を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 4月1日 宮城由利子主任主事を市長事務部局へ出向を命ずる。
- 4月1日 長嶺健庶務課長を事務局次長に命ずる。
- 4月1日 松川正則議事係長を庶務課長に命ずる。
- 4月1日 新城康子主任主事を議事係長に命ずる。
- 4月1日 石川保を書記に任用する。
- 4月1日 仲村厚子を書記に任用する。

- 平成14年10月1日 伊佐敏男氏第19代議長に就任する。  
伊波廣助氏第18代副議長に就任する。
- 平成15年1月6日 照屋みちよを平成15年3月31日までの間、議会史編纂嘱託員として任用する。
- 平成15年3月31日 安里良一主任主事に勸奨退職辞令を交付する。  
4月1日 新城康子議事係長を市長事務局へ出向を命ずる。  
4月1日 瀬名波稔主任主事を議事係長に命ずる。  
4月1日 安里重昭を書記に任用する。  
4月1日 伊野波万智子を書記に任用する。  
7月26日 伊集尚子を平成15年11月14日までの間、臨時任用（産休補充）する。
- 平成15年12月31日 大城清政事務局長に退職辞令を交付する。
- 平成16年1月1日 長嶺健事務局次長を事務局長に任ずる。  
1月1日 松川正則庶務課長を事務局次長兼務に任ずる。  
2月23日 玉城学を平成16年3月31日までの間、臨時任用（欠員補充）する。
- 平成16年4月1日 石川保主任主事を市長事務局へ出向を命ずる。  
4月1日 多和田真満を書記に任用する。  
4月1日 玉城学を書記に任用する。